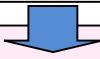


令和7年度 京都市立待賢幼稚園 幼稚園経営方針

＝教育目標＝

「自分で考え、自分で動き、意欲をもって遊ぶ子どもの育成」



＝目指す子ども像＝

- 自己を発揮する子ども
- 人とつながることを喜ぶ子ども
- 主体的に遊ぶ子ども

＝研究主題＝

少人数保育の中で子どもの育ちを豊かにするために
～計画的に異年齢での関わりを捉える～

＝目指す教職員像＝

- 子どもの命を守りきる意識をもち、子どもの健全育成に全力で取り組む教職員
- それぞれの専門性を発揮し、互いに切磋琢磨しながら、自己研鑽に励む教職員

＝目指す幼稚園像＝

- 地域の中に「待賢幼稚園があつてよかった」と子ども、保護者、地域の方々、関係機関の方々から思われる幼稚園

＝経営方針＝

- 学校運営協議会を中核に据えて、「地域とともににある幼稚園づくり」を進める。
- 子どもが自分らしさを発揮して自立していく姿を追求し、保護者とともに子どもの成長を楽しめる保育・教育を行う。
- 幼児期の豊かな体験を大切にし、親子で共感できる機会が持てるように取り組む。
- 幼保小中学校との連携を大切にしていく中で、本園からの発信により公開保育や研修会を積極的に行う。
- 集団での学びや育ちを滑らかに接続していくために、情報や課題を共有し合いながら、保護者や学校・関係機関等との連携を重視した取組を行う。
- 同年齢や異年齢、地域の方々等との交流の機会を多くもち、様々な人々とのふれあいを大切にする。
- 就学前施設等の関係機関との連携を大切にし、地域の子育て支援センターとした、子育て中の親のよりどころとなる取組を行う。
- 子どもが安心して楽しめる預かり保育するために、指導計画を工夫する。
- 自園の取組や教育内容を幼稚園説明会やHP・ポスター・掲示物等で発信する。